
「スペースプローブコンテスト2017」 開催のお知らせ

問合せ先 :スペースプローブコンテスト事務局(株植松電機内)

uecansat-info@googlegroups.com

主催 :株植松電機

共催 NPO 法人 HASTIC

1. スペースプローブ（宇宙探査機）コンテストとは？

各々が自作した探査機 (space probe) が小型ロケットにより上空で放出され、着地までの間に技術課題を競う競技会です。今年の技術課題は「ターゲットへの着地精度」です。

チームの順位付けは、大会当日の実施結果と、機体制作技術、課題解決のアイデア、事前実験の充実度を考慮して行います。

2. コンテストの概要

大会日時：2017年9月30日(土) 10時開会

参加資格：制限なし

※日程の都合上、参加チーム数は最大で6チームです。参加希望チーム多数の場合は書類による審査となることをご了承ください。

技術課題：参加者が製作した探査機が、高度約100mでロケットから放出されます。探査機の着地点により点数が決まるため、高得点を目指し機体を制御してください。

ルールの詳細は、別紙「スペースプローブコンテスト2017P 部門ルールv**.docx」を参照ください。

※悪天候の場合は室内にて技術交流を中心に行います。

開催場所：株式会社植松電機 赤平市共和町230番地50)

参加締切：2017年8月26日(土)

3. スペースプローブコンテスト申し込み方法

申し込み用紙に記載の上、メールまたはファックスにてお申し込みください。

Mail: uecansat-info@googlegroups.com / FAX:0125-34-4130

また、ご不明な点等あればメールまたは電話にてご連絡ください。

Mail: uecansat-info@googlegroups.com / TEL:0125-34-4133 担当 :稲石、大塚)

4. 参加費

- ・ 参加費は無料です。
- ・ 会場 (株式会社植松電機) までの旅費は支給されません。

5. レギュレーション

5.1. 探査機のサイズ、重量

- 探査機は、下記の規定サイズ／重量に収まるように製作し、パラシュートなどの回収機構も、その内部に収まるようにする事。

外径	150 mm	突起物も含む
全長	340 mm	
重量	1kg	総重量

- 打上げ前の計測で規定外である事が確認された場合は、ロケットへの搭載を認めない。

5.2. 探査機の落下速度

ロケットからの放出後、探査機が安全に回収できること、競技会場の外へ飛び出さないことを目的とします。

- 本体に、パラシュートなどの回収機構（減速機構）を取り付けること。
- 放出後、本体の落下速度を6 m/s 以上とすること。
- 事前に本体の落下速度をテストし、テスト方法と結果を設計仕様書に記述すること。

5.3. 探査機の整備性

ロケット打上をスムーズに行うこと、準備作業の遅延により他チームへ迷惑を掛けないことを目的とします。

- 搭載機器の電源 ON/OFF や動作設定は、機体を分解せずに機体の外部から短時間で行えること。
- バッテリーや記録メディア等の交換が必要なものは、機体を分解せずに短時間で交換を完了出来ること。

※準備遅延により打上予定時刻を超過する場合、点数が減点されます。

5.4. 三面図、設計資料書の提出

安全に実験が出来る機体であることの判定を目的とします。

- 打上げの二週間前である9/16 (土)までに以下を大会事務局に提出すること。
 - 機体の三面図
 - 設計仕様書

提出締切：2017年9月16日 (土)

記載例は以下のファイルを参考にしてください。

<http://www.camuispaceworks.com/sample.pdf>

6. その他

- 参加者は、レギュレーションサイズに収まる範囲で、ムービーカメラ、制御／計測用マイコン (mbed 等)、画像用無線ユニット等、自由に使って頂いて結構です。今回の大会では、希望者に mbed のみ貸与できるよう準備します。